

## ■第2回対話結果

「基本設計書」に関する対話事項

No	ページ	該当箇所							タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
		第1章	1.	1-1	1)	(1)	ア	①				
1	2-3	2	2	2-1					外部主要部計画について (原案)一般建具;アルミサッシュ B-2 (着色陽極酸化塗装複合被膜)。 (提案)B-1(無着色陽極酸化塗装複合被膜)に変更。(第1回対話・No37代案)。 アルミサッシュそのものの性能は原案と全く同じで、色が異なるのみ。耐候性に影響する被膜等も同等のものを採用。	×		
2	2-3	2	2.						内部耐火被覆 巻付耐火被覆を半湿式耐火被覆に変更	×		
3	2-3	2	2.						一般廊下B壁 一般廊下B壁 H2025以下木調化粧材を場所によっては木目調クロス貼り分けに変更	×	他の代替方法の提案を求む	
4	2-3	2	2.						壁を木目調化粧板に変更 壁:化粧ケイ酸カルシウム板(グラサル程度)を木目調化粧板に変更	×		
5	2-3	2	2.						風除 エントランス床 風除 エントランス床 石貼t30を300*600角磁器質タイル貼に変更(金額はピアツァ程度で算出)	×		
6	2-3	2	2.						風除 エントランス壁 風除 エントランス壁 石貼t30を化粧ケイカル板t9に接着材貼りt15に変更	×		
7	2-3	2	2.						風除 エントランス天井 風除 エントランス天井 アルミパネルをスパンドレル既成品に変更	×		
8	2-3	2	2.						VIP室壁 VIP室壁 木調化粧パネルを木目調クロス底目貼りに変更	×		
9	2-3	2	2.						屋上目隠し 屋上目隠し 押出し成形セメント板 リブ付を目隠しルーバーフレクサラム程度に変更	×	性能同等以上とする。	
10	2-3	2	2.						外装 押出し成形セメント板 外装 押出し成形セメント板 t80 W1200フッ素樹脂塗装を旭化成ALCアートミュールに変更	×		
11	2-3	2	2.						エントランス庇 立体トラス+ガラス屋根 エントランス庇	×		
12	2-3	2	2.						屋上アルミデッキ着陸帯 屋上アルミデッキ着陸帯をRC躯体に変更	×		
13	2-3	2	2.						便所C 汚垂れ石御影石 便所C 汚垂れ石 御影石 t30を床塩ビシート(東リワレ程度)貼り分け溶接接合に変更	×		
14	2-3	2	2.						屋上防水立上り 屋上防水立上り 乾式防水保護材設置を乾式保護板取止めの上、砂付ルーフィング増し貼りに変更	×		
15	2-3	2	2.						病室 AW 引違窓 病室 AW 引違窓 換気スリット付を換気スリット取止め壁面にパンチレータを設ける	×		
16	2-3	2	2.						バルコニー軒天 バルコニー軒天 フッ素樹脂塗装をリシン吹付仕上に変更	×		
17	2-3	2	2.						一般廊下A・B床 一般廊下A・B床 ビニル床シートをタジマエコドライエム程度に変更	×		
18	2-3	2	2.						一般病室、感染防止1・2、一般居室A、便所A・C放射線室床 一般病室、感染防止1・2、一般居室A、便所A・C放射線室床 立ち上がり共 ビニル床シート 模様張りを単一貼りに変更	×		
19	2-3	2	2.						階段踊場・蹴込、器材庫 階段踊場・蹴込、器材庫 ビニル床シートを塩ビタイルマチコV同等に変更	×		
20	2-3	2	2.						一般廊下B 一般廊下B 木調化粧材 H100を木調ソフト巾木 H100に変更	×		
21	2-3	2	2.						腰壁・柱型 腰壁・柱型 木調化粧材を木目調クロス底目貼り AAランクに変更	×		
22	2-3	2	2.						各階 垂れ壁 各階 可動式防煙垂れ壁 スクリーン巻き上げタイプを可動式防煙垂れ壁 パネルタイプに変更	×		
23	2-3	2	2.						各階 垂れ壁 各階 可動式防煙垂れ壁 スクリーン巻き上げタイプを可動式防煙垂れ壁 パネルタイプに変更 更に変更して固定式(ステンレスフレーム+網入りガラス)に変更	×		
24	2-3	2	2.						膳板 膳板 アルミ製をスチール製 SOP塗装に変更	×		
25	2-3	2	2.						浴室・水場 排水溝蓋 ステンレス製を樹脂製に変更	×		
26	2-3	2	2.						屋上防水立上り 屋上防水立上り 乾式防水保護材設置を乾式保護板取止めの上、砂付ルーフィング増し貼りに変更	×		

「基本設計書」に関する対話事項

No	ページ	該当箇所							タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
		第1章	1.	1-1	1)	(1)	ア	①				
27	2-3	2	2.						階段踊場・蹴込、器材庫	階段踊場・蹴込、器材庫 ビニル床シートを 塩ビタイル マチコV同等に変更	×	
28	2-3	2	2.						便所C	便所C 壁・柱型 化粧ケイ酸カルシウム板を ケイ酸カルシウム板+EP塗装に変更	×	
29	2-3	2	2.						膳板	膳板 アルミ製をスチール製 SOP塗装に変更	×	
30	2-3	2	2.						浴室・水場 排水溝蓋	浴室・水場 排水溝蓋 ステンレス製を樹脂製に変更	×	
31	2-3	2	2.						最上部屋上階 防水押さえコンクリート	最上部屋上階 防水押さえコンクリート 金鍍押さえ仕上げを防水押さえコンクリート取止めの 上、砂付ルーフィング増し貼りに変更	×	
32	2-4	2	3.						3次救急と1/2次救急のゾーニング	3次救急と1/2次救急のゾーニングを明確化 ①3次救急患者と1/2次救急患者の動線分離が可能になる。 ②1/2次救急にゆとりのある待合スペースを配置することで患者アメニティが向上する。	×	吹田連絡口の運用について留意
33	2-4	2	3.						生理検査室	生理検査室の平面を変更 ①中央待合を中心とした、わかりやすい平面構成が可能になる。 ②各検査室をスタッフ廊下で接続することで、患者動線とスタッフ動線を分離できる。	×	
34	2-4	2	3.						生理検査待合	生理検査待合に採光を確保 ①スタッフ廊下ごしの採光により患者アメニティが向上する。	×	
35	2-4	2	3.						麻酔医局等諸室の移動	麻酔医局等諸室を4Fから3Fに移動 ①麻酔医局等諸室が3F手術部門と同一フロアとなるので、麻酔医の上下移動がなく、移動効率が向上する。 ②麻酔医局等諸室に自然採光が確保でき、スタッフアメニティが向上する。	×	
36	2-4	2	3.						腎・透析センター部門の移動	腎・透析センター部門の外壁側への移動 ①自然採光が確保でき、透析患者のアメニティが改善する。	×	
37	2-4	2	3.						腎・透析センター部門の水処理室	腎・透析センター部門の外壁側への移動 ①水処理室との行き来が多いため、点検、調整等スタッフの移動効率が向上する。	×	
38	2-4	2	3.						手術部門リカバリースペース	手術部門リカバリースペースの創出 ①必要に応じて手術エリア内で、患者の術後観察スペースが創出できる。	×	
39	2-4	2	3.						2FOICの配置 検査部門の配置	2FOICを要求水準書指定の北側ではなく、南側に配置 検査部門を外来ホールから視認しやすい位置に集約配置 ①検体検査部門がまとまって配置され、特に外来採血待合の配置が外来ホールからわかりやすい。	×	
40	2-4	2	3.						4FOICの配置	4FOICを要求水準書指定の北側ではなく、南側に配置  ①南側にオープンなOICを配置することで、JRからのOICの顔の部分ができる。 ②OIC部をガラス窓とすることで、視認性も良くなる。 ③国際級の研究拠点にふさわしい専用大会議室が設置できる。(上部が屋上のため、圧迫感のない高い天井が確保できる)	×	
41	2-4	2	3.						事務スペースの配置	事務スペースの外壁側または、吹き抜けへの配置 ①事務スペースの外光の取り入れにより、スタッフアメニティが向上する。	×	
42	2-4	2	3.						7階脳リハビリと8階心臓リハビリの接続	7階脳リハビリと8階心臓リハビリを階段で接続 ①緩やかな勾配の階段を設置し、患者のリハビリに利用する。壁で囲まれた階段ではないのでスタッフのサポートや見守りに優れる。 ②スタッフの上下移動にも利用することができ、効率化が図れる。	×	特段不要

「基本設計書」に関する対話事項

No	ページ	該当箇所							タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
		第1章	1.	1-1	1)	(1)	ア	①				
43	2-4	2	3.						PET室の操作窓(鉛ガラス)を中止	PET室に監視カメラを設置し、操作窓(鉛ガラス)を中止 ①操作窓ごしの放射線漏えいがなくなり、操作スタッフの被爆リスクが軽減する。 ②操作窓(鉛ガラス)中止によりコストが削減する。	×	
44	2-4	2	3.						PET室に袖壁を設置	PET室の操作出入口に放射線遮蔽用のコンクリート製の袖壁を設置 ①放射線方向に直行するコンクリート製の袖壁を設置することで、操作扉ごしの放射線漏えいなくなり、操作スタッフの被爆リスクが軽減する。 ②操作扉の鉛シールドが不要になりコストが削減する。	×	
45	2-4	2	3.						北側外部階段の取止め	北側外部階段の取止め ①避難規定、防災計画に問題ないことを検証した上で、北側外部階段を取りやめる。	×	将来可変性に影響を懸念
46	2-4 ~ 2-15	2	3	3-1					病棟形状の見直しについて	(原案)基本設計案。 (提案)①病棟断面構成の見直し。 ②病棟平面の見直し。 ③病棟コアの見直し。 ④病棟スパンの見直し。	×	①~④にこだわらないが、運用に支障があるため、本提案は不可。
47	2-22 7-14	2 7	4. 3.						OIC、研究所専用エントランスロビー	OIC、研究所専用エントランスロビー(吹抜)をガラス張りとしJR側からの視認性(ビジビリティ)を向上 ①国際級の研究所のエントランスにふさわしいデザインとして、多くの人に認知されるデザインとする。	×	
48	2-22 7-14	2 7	4. 3.						将来用出入口を設置	将来歩行者用デッキ(想定)に配慮し、OIC、研究所専用エントランスロビーから2階レベルでデッキに接続できるよう将来用出入口を設置 ※歩行者デッキ構想とは・・・医療クラスター内の複数の街路をつなぐ歩行者デッキ(歩行者デッキは当事業範囲外) ①JRを利用して訪れる人がデッキから1階レベルに降りることなくOICのエントランスにアプローチできる。また、デッキを通してOICを訪問する人々がJRから見えるなどOICのアクティビティが感じられる。 ②街区間を2階レベルで接続することで歩車分離し、医療クラスターの拠点であるOICへの他街区からのアクセスを良くするとともに、複数街区の人の行き来を促進し連携を高める。	×	
49	2-52								4床室扉位置	・将来の可変性、遮音を考慮して4床室扉位置を変更する。 ・構造間柱を一部に設置する。(床振動性の向上およびコスト縮減)	×	
50	2-56	2	9	9-1					昇降機計画	昇降行程、停止箇所数を考慮すると、機器の能力(定格速度)が100%発揮できないと考えられる、または急行運転時においても所要時間が大きく変わらないと考えられる下記号機について、定格速度を変更する。 No.11 昇降行程19.8m(1・3・5階) 105m/min ⇒ 60m/min No.15 昇降行程26.2m(B2~4階) 105m/min ⇒ 90m/min No.16,17 昇降行程20.7m(B1・3階) 90m/min ⇒ 60m/min No.18,19 昇降行程21.8m(B1~4階) 105m/min ⇒ 60m/min No.20,21 昇降行程30.3m(B1~6階) 105m/min ⇒ 90m/min No.22 昇降行程30.3m(B1~6階) 105m/min ⇒ 90m/min No.23 昇降行程5.8m(B1・1階) 60m/min ⇒ 45m/min No.24,25 昇降行程5.8m(B1・1階) 60m/min ⇒ 45m/min	×	
51	2-56	2	9	9-1					センサー自動運転型エスカレーターの採用	エスカレーターは人感センサーによる自動運転機能付とすることで、不使用時のエネルギー消費量の低減を図ります。	×	患者の安全性の観点から不要。
52	2-56	2	9.	9-1					エレベータ	駐車場から、外来および病棟階へのエレベータno.9・10・15は寝台用エレベータとなっておりますが、平面プラン7-3等を見ると乗用のように記述されております。使用勝手から乗用と思われるため、平面プランを正と想定します。	-	寝台EVとします。基本設計書搬送計画を正とします。

「基本設計書」に関する対話事項

No	ページ	該当箇所							タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
		第1章	1.	1-1	1)	(1)	ア	①				
53	2-56	2	9.						西端部非常用エレベータ	西端部非常用エレベータの取りやめ ①中央荷物用エレベータ(12号機)を非常用エレベータへと仕様変更して対応することで、西端部エレベータを取り止めコストを削減する。	×	
54	4-2	4	2.						駐車場(車室)エリアの照明制御方法の変更	駐車場(車室)エリアの照明制御方法をタイムスケジュール制御→人感センサーにて点滅に変更 ①光熱水費の低減 ②危険防止	×	
55	4-2	4	2.						スタッフルーム・事務室・医事室等の照明器具の変更	スタッフルーム・事務室・医事室等の照明器具を埋込型LED照明→タスクLED照明(スタンド)+埋込型LED照明1/3程度に変更 ①光熱水費の低減、 ②イニシャルコストの低減、 ③維持管理費の低減	×	
56	4-2	4	2.						埋込下面開放型器具の照明器具の変更	埋込下面開放型器具(LED)「諸室リスト照明種別番号A」の照明器具を埋込下面開放型→直付型照明(LEDライトバー)に変更 ①イニシャルコストの低減、 ②維持管理費の低減	×	
57	4-2	4	2.						外来患者エリアの照明器具の変更	外来患者エリア(処置灯の無い部屋)の照明器具を埋込下面カバー付(LED)→直付型照明(LEDライトバー)に変更 ①光熱水費の低減、 ②イニシャルコストの低減、 ③維持管理費の低減	×	
58	4-3	7	2			(1)		④	高圧幹線系統の集約	特高電気室から各電気室への高圧幹線送りが、1電気室あたり3系統となっていますが、一般系と非常・保安系の2系統とします(1系統あたりの遮断機および幹線容量も含めて見直します)。母線連絡など保守点検箇所を低減します。	×	
59	4-7	7	2			(8)		②	処置部屋などの照明器具の亚克力カバーの中止	処置部屋などは下面亚克力型器具となっていますが、LEDのライトバータイプの器具を採用します。ライトバータイプは、LED素子を直接見せないカバーが施されており、グレア感も亚克力カバーしているものとほぼ同等と考えます。また、カバーがないため、器具交換も簡単となり、照明率も上がり省エネルギーになります。	×	
60	5-1	5	1-2						井水提案A 濾過設備の処理能力	基本設計書5-1及び要求水準書p11⑦、質問回答書B-4 #21 井水の日取水可能量は800m3/日ですが、雑用水の使用量を考慮すると224m3/日です。井水濾過設備の処理能力は224m3/日としてよいでしょうか。	—	貴見のとおりです。
61	5-1	5	1-2						井水提案B 地域供給	井水の日取水可能量は800m3/日ですが、雑用水使用量は244m3/日です。残り556m3/日を地域ネットワークに供給できるよう、分岐配管を敷地境界まで延長します。 将来、売水や売熱による光熱水費削減の可能性もあります。井水濾過設備の処理能力は800m3/日とします。	×	
62	5-3	5	2	1					熱源システムに関する質疑	基本設計書5-4及び第1回対話結果p18/23 #30 #32 空調熱源システム構成を尊重しつつ能力や設置台数が多少異なった提案や容量の見直しの提案が可とされており、変更可能な容量や台数の具体的な上下限値はご教示いただけないでしょうか？	—	代替方法の提案として具体的な案があった場合に判断致します。 基本設計に準拠することが求められます。 よって、上下限値は提示しません。
63	5-3	5	2.						フィルタ仕様変更	清浄度区分に応じたフィルタ仕様の見直しによるLCC維持管理費低減 ①「病院空調設備の設計管理指針(HEAS-02-2013)」に準拠し、清浄度クラスⅢ(該当室はICU、手術ホール等)に高性能フィルタ(JIS比色法95%以上)を使用することで維持管理費を低減する。 ②空調機の仕様が、HEPAを使用したFFCUから一般FCUとすることで、イニシャルコストを低減する。	×	

「基本設計書」に関する対話事項

No	ページ	該当箇所							タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
		第1章	1.	1-1	1)	(1)	ア	①				
64	5-3	5	2.					厨房脱臭装置	厨房脱臭装置の取止めによるLCC維持管理費低減 ①厨房排気場所の変更により厨房臭気のショートカットを防止することで、脱臭装置を中止(将来設置スペースは確保)することでイニシャルコストを低減する。 ②セラミックフィルタ中止による維持管理費を低減する。	×		
65	5-7	5						一般清浄区域などのフィルター仕様の変更	基本設計書5-7及び質問回答書B-5 #89 #90 #91 清浄度クラスと給気最終フィルターの仕様について、清浄度クラスIVの一般清浄区域および一般区域、清浄度クラスVの汚染管理区域および汚染拡散防止区域の一部について、室内循環系統の室内機もプレフィルター+中性能フィルターとされていますが、中性能フィルターは中止してもよろしいでしょうか。上記の一般清浄エリアは利用者の外からの利用者なども自由に出入りできるゾーンも含み、入退室者の清浄管理は通常行われていない場所です。このような区域で中性能フィルターを使用すると、交換頻度も高くなり、維持管理コストが高くなるためです。	×		
66	5-8	5	3.					病棟階排水方式の変更	病棟階排水方式の変更提案 ①病棟階の排水を『污水雑排水合流+集接管継手』による排水方式に変更し、堅管を3本から1本に変更(減)する。 ②PSの省スペース化を図り、将来の堅管の更新にも配慮する。	×		
67	5-8	5	3.					仕様変更	国交省仕様から民間仕様に変更(配管等断熱被覆仕様、機器仕様) ①機能同等の仕様でイニシャルコストを低減する。	添付資料の提案は×		
68	7-06							風除室変更	風除室を前面に設置し、ホスピタルストリートを広くする提案。	×	接続部の自由度が不明。	
69	7-06							歩道橋階段	歩道橋の工事範囲を指示願えますでしょうか。病院側の階段が病院敷地内と道路範囲にまたがって計画されています。	—	階段は本工事対象外(市で設置予定。)	
70	7-07	7						3階 ICUのベッド配置	両端の病室や柱が視線の妨げになる病室は、ベッド配置を横にして、患者の観察をしやすくする。	×		
71	7-07	7						3階 ICU治療室前に看護、機材スペース	カウンターの奥行きを縮小することで、廊下幅を狭めることなく、治療室前に看護師が各患者のケアをしやすい空間を設ける。 電源や可動式の棚を置き、そこに電子カルテや医療資材等を置くことで、簡単なモバイルステーションにすることが可能。	×		
72	7-10 7-11 7-12 7-13	7						4床室の中央に簡易モバイルステーションを設置	4床室の中央付近に、コンセントを設け、電子カルテの電源がとれ、ワゴンを置き看護師が作業できるような空間を設置する。	×		
73	7-10 7-12	7						6階、7階のリハビリに吹抜けおよび階段の設置	スタッフ間のコミュニケーションの誘発と、患者さんのアクティビティ創出を目指して、7階心臓リハのトラック内部に吹抜けを設ける。6階脳リハと7階心臓リハを連結し、訓練も兼ねた階段を設置する。 またこの吹抜け設置による床面積は、X18~X20間の外部吹抜を内部化し補填する。	×	特段不要。	
74	7-14	7	3					立面図について	(原案)仕上凡例②外壁(病棟バルコニー部); 押出成形セメント板t60フッ素樹脂塗装。 (提案)使用部位の特性に合わせて材料を使い分けた費用対効果を高める提案。 (第1回対話・No60代案)。 ①案; 添付範囲をALC板t100 フッ素樹脂塗装(複層塗材E吹付の上)に変更。 ②案; 添付範囲を金属板サイディング(ガルバリウム鋼板)張り、フッ素樹脂焼付塗装。 ※上記以外は、原案通りの仕様とする。	①× ②×		

「基本設計書」に関する対話事項

No	ページ	該当箇所							タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
		第1章	1.	1-1	1)	(1)	ア	①				
75	7-14	7	3						立面図について	(原案)仕上凡例⑩目隠し用押出成形セメント板t60フッ素樹脂塗装。 (提案)ガルバリウム鋼板フッ素樹脂焼付塗装折板(第1回対話・No64代案)。 原案と同様の耐候性をもった仕上とし、更に基材を屋根等にも用いられる強度の高い折板を採用。	×	
76	7-14	7							低層部外壁材料の変更(ALC)	押出成形セメント板t80フッ素樹脂樹脂塗装(W1.200)→ALCt125へ変更。 断熱、遮音性の向上を図る。	×	
77	7-14	7							屋上目隠し材料の変更	目隠し用押出成形セメント板t80フッ素樹脂樹脂塗装→アルミルーバー横型へ変更。 施工性の向上を図る。	×	

「諸室リスト」に関する対話事項

No	資料名	ページ	該当箇所			タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
			想定階	部門	名称				
1	建築編	3	共通	風除、エントランス	床	内部仕上分類表について	(原案)床;石貼t30。 (提案)石目調タイル張り ①案300×300 ②案600×300 に変更。 (第1回対話・No82代案)。	×	
2	建築編	3	共通	風除、エントランス	壁	内部仕上分類表について	(原案)壁;石貼t30。 (提案)石目調タイル張り ①案300×300 ②案600×300 に変更。 (第1回対話・No83代案)。	×	
3	建築編	4	B1	中央材料部	組立滅菌スペース	オートクレープの台数について	「オートクレープ6台」と記載されていますが、要求水準書別添資料2(各種技術資料)リスト5医療機器及びその他関連工事資料(病院1)O-1では「オートクレープ5カ所」と記載されています。台数の違いがありますが、諸室リストを正とし、6台として想定します。	-	貴見のとおりです。
4	建築編	21	3	手術部門	手術室	放射線対応について	(原案)全室放射線対応。 (提案)放射線の利用を考え放射線対応をハイブリッド手術室1・4・5のみとする。 (第1回対話・No102代案)。	×	
5	電気設備編	22	3	手術部門	手術室	アイソレーショントランス容量について	手術室1～12のアイソレーショントランス容量は「15kVA×2台」となっていますが、別添資料2(各種技術資料)A-18_手術室設備機器表では「10kVA×1台」と相違しています。その他、分娩室や研究所各手術室も相違しています。最先端医療や規模から、諸室リストのアイソレーショントランス容量を正と想定します。	-	貴見のとおりです。

その他資料に関する対話事項

No	資料名	ページ	タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
1	要求水準書	20	本工事の範囲について質疑	「(n) 中材における高圧蒸気滅菌装置、過酸化水素ガス滅菌装置、酸化エチレンガス滅菌装置、RO 水製造装置、カート・器材洗浄器等」は別途発注業務にて本工事に区分されています。各種技術資料『医療機器及びその他関連工事リスト(病院)』には、EOG滅菌器(廃棄処理含む)、プラズマ滅菌器、オートクレーブ、中材洗浄機(ジェットウォッシャー、減圧沸騰式)が記載されています。『医療機器及びその他関連工事リスト(病院)』を正と考えここに記載あるものを本工事としますがよろしいですか？	-	貴見のとおりです。
2	要求水準書	p48c(j)	排気ガラリ面積の低減	「給排気用のガラリは、(中略)風速は給気が3m/s以下、排気が2m/s以下とする。」とありますが、騒音の観点から排気を3m/s以下とし、雨水の引き込みへの考慮から給気を2m/s以下とします。居室や近隣住宅のある面は注意し、騒音規制法の境界規制値を守ります。	×	具体的な提案を求める。
3	要求水準書	p65(c)	音量調整器の設置位置の変更	音量調整器は室毎、床毎に設け、共用廊下はEPSに設けることとなっています。音量調節の誤操作防止も考慮し、病室など日常の自由な音量調整を必要としない諸室や共用廊下限定し、音量調整器付スピーカーを採用し、壁付音量調整器の台数を削減します。	×	
4	要求水準書	72	熱源システムについて	(原案) 要求水準書記載のシステム (提案) 受注後、熱源システムの見直しのご提案。  見直し項目 ①シミュレーション上の電力負荷カーブを見直し(再検討)を行い、蓄熱調整ピークシフト契約の最適解を再検証する。 ②イニシャルコスト(蓄熱槽躯体工事、断熱防水費用など)の反映。 ③LCCをの算出にあたり、金利、租税等を考慮に入れる。 ④投資対効果の視点にも配慮する。 ⑤暖房は、蒸気ボイラーに依存せず、ヒートポンプ暖房や、高効率無圧温水器などに置き換えることにより、高効率システムを目指す。  上記項目の概算費用を入れたものを提示する。金利を入れると、単純投資回収年数が10年を超えるシステムは、経済性はあまり向上しない。 この表によれば、蓄熱槽は▲30%程度削減した方がLCC上、投資効果上もよいと思われる。(詳細検討は必要)  (添付資料P54参照)	×	代替方法として確認ができないため
5	要求水準書	p72k	排気ダクトの断熱範囲の変更	前回の記述に誤りがありました。以下のように訂正いたします。 排気ダクトの外壁から2mを断熱とありますが、公共標仕の機械編、第2編第3章第1節3.1.4の表2.3.2の注に「9.次のダクト等は(中略)保温を行わない。(中略)(ハ)排気ダクト」とあります。よって、排気ダクトは原則保温を行いませんが、外壁の断熱性能の確保のために、外壁から1mを断熱します。	×	基本設計通り2mとする。「監理指針H25年版」P321には特記により1～2mと記載あり。
6	要求水準書	79	給水設備受水槽の材質	(原案) ステンレス製の水槽が指定 (提案) 日射があたらなない機械室内設置の受水槽は、耐用年数についてもFRP製でも同等である。FRP製に変更したい。	○	
7	要求水準書		現寸モックアップの規模を縮小する	イニシャルコストの低減	×	
8	質疑回答 要求水準書(諸室リスト) -建築編- -機械衛生設備編- -電気設備編- -機械空調設備編-	68	諸室シート間の数量の食い違いについて質疑	質問回答にて、備品の個数について「諸室リストを正としてください」とありましたが、建築と設備の諸室リスト間で設置する部屋や数量が異なっている場合や、数量に記載がない場合があります。どの諸室シートを正とすればよろしいですか？また、諸室シートに備品数量の記載がないものについては、数量の提示をお願いします。 技術資料O-1からO-3と諸室リストどちらにも記載のあるものは、技術資料よりもここで提示されたものを優先とします。ドラフトチャンパー台数もここで提示されたものを優先とします。 (説明資料_数量食い違い.xls参照)	-	別途資料「諸室シート間の数量の食い違いについて」を確認ください。

その他資料に関する対話事項

No	資料名	ページ	タイトル	提案	適否	備考(質疑の場合は回答)
9	質問回答書	B-5 No67	ナースコール マルチケアコールの台数	マルチケアコールは、握り押ボタンを使えない患者さんに対応する機器です。全ベッドには必要ないため、各病棟単位毎に5台と考えますが、よろしいでしょうか。	×	マルチケアコールは不要とします。(要求水準書等の修正)
10	別添資料1(基本設計書) 要求水準書(諸室リスト)	2-3 3/61	2-1.内部主要部計画 ■内部仕上分類表-3	別添資料1(基本設計書)では、研究所の実験室(ウェット)の床仕上がり(アスファルト防水+シンダーコート250)となっていますが、要求水準書における実験室Wにはアスファルト防水の指定はありません。要求水準書の内容を正と考えてよろしいでしょうか？	-	貴見のとおりです。
11	別添資料(基本計画書)	2-3	仕上材料計画	低層部外装材は押出成形セメント版t80 w1,200 フッ素樹脂塗装とし、低層部建具(アルミカーテンウォール)ジョイント部は等厚工法(オープンジョイント工法)とします。なお、フッ素樹脂塗装は現場塗装品としてよろしいでしょうか。	-	貴見のとおりです。
	別添資料(基本計画書)	7-16	主要部詳細図(断面詳細図)			
	各種技術資料(建築資料)	A-3	低層部建具図			
12	各種技術資料(建築資料)	A-2	建具共通事項1	内部建具仕様 内法寸法w1,600×h2,000とありますが、軽量鋼製建具(引き戸)についてはメーカーによっては製作限界寸法を超えるためメーカー指定となり、価格が高止まりとなります。一般品として対応できる寸法w1,500×h2,000と読み替えることを提案します。	-	不可とします。
13	各種技術資料	A-15 ~17	仮設計画図	仮設計画図(1)~(3)に示された山留め・切梁計画、仮設構台計画はあくまで参考資料であり、自由に設定してよいでしょうか。 また、当該資料との弊社の計画との対応関係及び変更点がわかるようにする必要はありますか。	-	前段は、貴見のとおりです。 後段は、貴見のとおりです。
14	別添資料2(各種技術資料)	E-04, 06, 08	高圧幹線設備について	(原案)特高受変電設備~高圧受変電設備間の高圧幹線が、1系・2系・G系の3系統となっている。 (提案)系統の見直しを行い、1系(AC)・G系の2系統に変更し、システムを構成する機器を削減する。	×	
15	別添資料2(各種技術資料)	E-37~ 50	入退室管理設備について	(原案)各種技術資料のセキュリティレベル及び入退室管理プロット図による。 (提案)使用頻度が無いもしくは少ないと思われる箇所の機器を取止める。	×	
16	様式		企業名記載についての質疑	提案書には企業名を記載不可となっておりますが、様式6-2の実施体制図に配置予定している氏名は記載することとなっております。 様式6-2~6-8までは企業名を記載してもよろしいでしょうか？	-	貴見のとおりです。
17	様式集	様式5-5 様式5-6	センター全体、OICの提案様式	様式と落札者決定基準の対応関係について、御教示ください。	-	様式の順序を以下のとおりに修正します。  様式5-5 オープンイン/バージョンセンター構想に資する提案  様式5-6 センター全体の機能向上に資する提案
18	様式集		枚数	様式に記載されている「枚」は、ページ数でしょうか。		様式の中に記載した文章での「○枚以内」の表記は、枚=ページ数と理解してください。 例:A4サイズ2枚以内 → 出来形はA4サイズ両面で1枚、2ページ分となります。

	無影灯		シーリング		手術 病棟	メディカルハンガー	手術用手洗い	ドラフトチャンバー		クリーンベンチ	安全キャビネット	EOG滅菌器	オートクレーブ	プラズマ滅菌器	
	A	B	病棟	ER				a	b						c
病院															
諸室シートよりの個数 (修正後)	6	22	130	3	33	86	27	4	5	1	27	9	2	6	2
医療機器及びその他関連工事リスト	6	22	109	3	17	86	27	4	5	1	27	6	2	5	2
正の数量	6	22	130	3	33	86	27	4	5	1	27	9	2	6	2
研究所															
諸室シートよりの個数 (修正後)	2	10	3	0	9	4	4	4	60	6	6	32	1	4	4
医療機器及びその他関連工事リスト	2	7	2	0	9	4	4	2	55	5	5	22	1	4	4
正の数量	2	10	3	0	9	4	4	4	60	6	6	32	1	4	4

→数量が多い方を採用してください。